



2023年2月6日

各位

会社名 富士興産株式会社
代表者名 代表取締役社長 保谷 尚登
(コード番号5009 東証スタンダード)
問合せ先 経理部長 大橋 亮
(TEL. 03-6859-2050)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期の通期連結業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想について

2023年3月期通期連結業績予想数値（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	73,000	680	740	530	80.66
今回修正予想（B）	70,000	300	350	460	69.94
増減額(B-A)	△3,000	△380	△390	△70	
増減率（%）	△4.1	△55.9	△52.7	△13.2	
（ご参考）前年実績 （2022年3月期）	60,488	517	577	2,038	1,486.88

（理由）

売上高は、石油事業における原油価格が計画に比し下落したことにより、製品販売価格が下落傾向にあることから前回予想を下回る見込みです。

また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、石油事業において繁忙期となる第3四半期において、主力商品の一つである灯油が北海道では堅調な販売が出来たものの、その他の地域においては例年に比べ12月中旬まで気温が高く、消費者の節約意識の高まりもあり、需要期にも関わらず需要が伸長せず低調な販売となる見込みです。さらに、社会全体のインフレに対する警戒感が高まる中、エネルギー価格の上昇については受け入れられにくい環境となり、原油価格の上昇局面において、産業用燃料のマーケットは上昇せずに横ばいで推移したことや原油価格の下落局面においてもマーケットにおいて小売マージンが圧縮する環境が継続していること、さらに、買収による取得関連費用やのれん償却額の計上により経費が増加したこともあり、前回予想を下回る見込みのため、上記の通り修正いたします。

なお、親会社株式に帰属する当期純利益につきましては、2023年1月に自然災害リスクが高く、電力会社の出力抑制などにより採算性の悪化していた発電所を売却した売却益と企業価値向上のため政策保有株の縮減を目的として実施予定の投資有価証券の売却益を含めております。

業績予想を上記のとおり修正し一時的に減益となりますが、今後とも当社グループの成長に向けた投資を含む各種施策を着実に実施し安定的な収益基盤を確立することにより、更なる企業価値向上を図ってまいります。

2. 期末配当予想について

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回予想 (2022年5月13日発表)	円 銭 —	円 銭 28.00	円 銭 —	円 銭 53.00	円 銭 81.00
今回修正予想				42.00	70.00
当期実績	—	28.00	—		
前期実績 (2021年3月期)	—	23.00	—	86.00	109.00

※前期実績の期末配当 86 円の内訳は、普通配当 42 円及び特別配当 44 円であります。

(理由)

当社は総還元性向 100%を目安とした株主還元を実施（2022年3月期から2024年3月期）する方針であります。期末配当につきましては、2023年3月期通期連結業績予想を修正したことにより、1株当たり42円に修正いたします。

(注) 上記の予想はあくまでも本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上